

## KFR セミナー

# 追い風に乗る風力補助推進システムのいま

カーボンニュートラル実現に向けた GHG 削減のため、造船・海運・船用において様々な研究開発が行われています。船型改良や省エネ付加物の開発、新燃料の導入など、これまでの KFR 例会でもいくつかのテーマについては紹介をさせていただいております。今回取り上げる省エネ装置は、自然エネルギーの一つである「風」を積極的に利用した補助推進システムです。ウィンドチャレンジャーやサクションセイルなどの硬翼帆、ローターセイル、カイトなど様々な方式の風力補助推進システムが開発されており、商船への搭載が加速しています。今回の KFR 例会では、風力補助推進システムに焦点を当て、海運のカーボンニュートラルの大きな視点から、運用に関する話題、さらには将来の風力利用の絵姿まで、専門家の皆様をお呼びしてご講演いただきます。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 古池 健太

### — 記 —

#### 第359回 KFR セミナー

- 日時：2024年11月28日（木）14：10～17：00
- 場所：webex（お申込みいただいた方へ、当日までにURLをお送りします。）
- オンライン開催です
- 参加費：無料、要事前登録

#### ・海運のカーボンニュートラルに向けた取組

（松本 友宏 氏：国土交通省海事局）14：10～14：30

国際海運や内航海運における議論の動向をご紹介します。

#### ・水素生産帆船「ウィンドハンター」

（大内 一之 氏：（株）大内海洋コンサルタント）14：40～15：40

海上風力エネルギーを使って、海水とトルエンのみを原料として、水素及び水素キャリアであるメチルシクロヘキサンを生産・貯蔵・運搬する新形式のエネルギー供給船の概念を概説します。

#### ・ウェザールーティング・長期予測によるローター船の省エネ効果の評価

（粉原 直人 氏：海上技術安全研究所）15：50～16：50

海運分野からのCO2排出量削減のためには自然エネルギーを利用することが有効であり、その中でも風力を推進力として利用する風力推進船に注目が集まっています。本講演では風力推進船の一つであるローター船を対象に、ウェザールーティング及びライフサイクルにおける長期予測に基づいて省エネ効果を評価した結果を紹介します。

参加申し込みは、11月27日（水）までに次ページのURL（QRコード）からお願いいたします。



<https://forms.gle/WV7mfx9HTbtJXt9q6>



問合せ先：(公社)日本船舶海洋工学会 関西支部 事務局・牧 敦生  
TEL：06-6879-7593 FAX：06-6879-7594  
E-mail：[k.office@jasnaoe.or.jp](mailto:k.office@jasnaoe.or.jp)

以上